

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 59

学校名・団体名	豊川市立東部中学校
HPアドレス	https://www.city.toyokawa.lg.jp/shouchuuichiran/tj-toubu/index.html
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	響け僕らの歌声！ 特別支援学級から広がるハーモニー
<p>〈活動・研究の意義、目的〉 障がいをもった生徒が、合唱活動を通して、学校や地域の中で仲間をつくり自立につなげる方法を探るプログラムです。歌や音楽が大好きでも舞台に出る機会がなく、能力が開花せずに大人になっていく現実を変えます。特別支援学級の生徒を全員補欠にすることなく通常学級生徒を加え、学校の代表として三河地区のコンクールに参加します。療育手帳 A 級を所持している生徒も生き生きと自信をもって歌い、観客を感動させるレベルにひき上げます。また、豊川市内の市民合唱団（5団体）との合同合唱に向け、私たちにあった曲を専門家に制作していただきます。発声など舞台に出ない部分を支援する約束をしてくださる専門家も現れました。知的・情緒の障がいは、音楽に向き合うことに関係ありません。支援学級の生徒にとって、音楽が生涯の心の支えとなり、大人の市民合唱団に入れるレベルまで心も技能も成長できることを発信していきます。</p>	

1. 活動内容

(1) 対象者 特別支援学級 (わかばA~C組 16名)

(2) 教科 学級活動 作業学習 音楽 総合学習

(3) ねらい

- ・支援学級の生徒が生き生きと合唱活動に参加することで、交流学級や地域社会で活躍できる素地を育成する。
- ・交流学級や地域の人々が、支援学級生徒のすばらしさを合唱の練習や本番を通して体感し、障がいをもった人を仲間に入れようとする気持ちを高める。

(4) 活動の特色

- ・特別支援学級の生徒が、『NHK 音楽コンクール』『ほーほう音楽祭』にむけての合唱活動を通して自信を深めます。NHK コンクールでは、テニス部や奉仕部など通常学級生徒と交流します。『ほーほう音楽祭』では、豊川市の市民合唱団5団体の団員と交流します。専門家の指導も受け、自分たちで音取りができ、アドバイスしあえるレベルになります。校内合唱コンクールの時には、自信をもって交流クラスの一員として活躍します。
- ・名古屋芸術大学の先生方や豊川市音楽協会の協力が得られています。
- ・合唱用のひな壇を地域の塗装会社の指導の下、特別支援学級生徒が製作します。

(5) 活動時期および内容

5月	29年度東部中学校合唱団結成 作詞・作曲家の先生との打ち合わせ 大学の先生との打ち合わせ (教師)
6月	音取り用ピアノを弾こう 作曲家の先生と交流しよう
7月	ボイストレーナーに教えてもらおう 合唱団の定期演奏会に行こう (豊川コール・アカデミー) コンクール会場下見・大学の先生との打ち合わせ ステージマナー講座
8月	NHK 音楽コンクールに参加しよう
9月	美しい声の作り方を研究しよう
10月	オーケストラの演奏会に行こう (岡崎グランドポップスオーケストラ) みんなで合唱練習用ひな壇をつくろう ほーほう音楽祭に参加しよう
11月	豊川市防火大会の舞台を組み立てよう 小学生に聴いてもらおう 校内合唱コンクールに参加しよう
12月	合唱活動の振り返りをしよう

2. 成果

特別支援学級の生徒達が、NHK コンクールやほーほう音楽祭での発表を意識して練習に取り組むことで、合唱の技能がぐんと向上しました。また、自分たちで校内発表のためのひな壇を組み立てたり、他団体の演奏会の舞台設営や片付けのお手伝いができたりと、将来の職業自立につながる活動になりました。支援学級の中だけの活動で終わることなく、通常学級の生徒や合唱を愛好する市民、大学や作曲家の先生など多くの善意ある人々と交流することで、生徒達は、社会で生きていく上での大切な経験を積み上げることができました。日常、障がいのある人と接する機会が少ない人たちにも、特別支援学級の生徒の良さや困り感が実感として伝わっていきました。演奏が終わった後「また、一緒に歌おう!」「私たちの演奏会にゲスト出演しない?」「演奏会の招待券を差し上げたい」など大きな反響があり、生徒達の大きな自信になりました。この活動は、支援学級生徒の笑顔がはじけ、障がいのある人もない人も共に笑顔で暮らしていける地域社会に向かうきっかけとなりました。関係の皆様へ感謝します。